

令和5年度 60回生 授業概要(シラバス) (案)

科目名	暮らしを支える看護技術Ⅲ		分野/教育内容	専門分野/地域・在宅看護論
開講年次 時期	2年後期 2024年1月 日		単位数/時間	1単位/15時間
講師名				
所属・役職				
資格・免許	畠山 千章	宮古高等看護学院 専任教員		看護師
授業の 概要	地域で生活する人々の健康の保持・増進・疾病予防に関わる教育・指導技術を学ぶ			
到達目標	1. 地域で生活する人々の健康を維持・向上するための看護活動を理解する。 2. 対象者の強み（ストレングス）を引き出し、健康増進、自立の促進を目指した看護実践方法を理解する 3. 心身の健康障害に対する正しい理解への啓発活動について説明できる			
事前学習 内容	市町村保健センターと保健所について基本的な知識を学習する 一人につき一市町村（宮古市・山田町・大槌町・岩泉町）の地域特性と健康課題を調べる ＊グループ編成、書式は事前に指示する			
成績評価 の 方法	1. 終講試験 1回（60点）＋演習評価（30点）＋レポート評価（10点）＝合計100点満点 ＊100点満点中6割に満たなかった場合は再試験 2. 出席状況（学則に準ずる）			
使用 教科書	参考テキスト）基礎看護技術Ⅰ（医学書院、第18版第1刷、2022年） 成人看護学総論（医学書院、 ） 臨床看護総論（医学書院、 ） 他			
回数	授業概要(主な学習内容)			講師
1	地域における健康教育・指導の実際①			畠山
2	地域における健康教育・指導の実際②			
1	基本的な指導・健康教育の方法、計画書作成			
2	対象に応じた健康教育の実際（教材作成、指導練習）			
3	演習：健康教育の実際			
4	演習：健康教育の実際			
5	地域における健康教育の課題			
	終講試験			
履修上の 留意点	・グループワークの際は、アサーティブコミュニケーションを意識し、グループとしての考えが深まるよう意欲的に臨むこと。 ・発表に向けて、放課後等の時間も活用しながら計画的に準備を進めること ・本授業および今後の地域・在宅看護論の授業資料、自己学習内容は、3年次の実習に活用できるようファイリングしておくこと。 ・積極的に自分の考えを表現すること。			

第1回	市町村保健センターの役割（業務内容、関連職種） 地域における保健師の役割と、保健活動の実際	
第2回	保健指導に関する事例紹介 あらゆる発達段階における指導・教育技術方法の具体 方法、コミュニケーションスキル、留意点、集団・個別指導の効果など	
第3回	基本的な、教育・指導技術 教育・指導内容の決定（対象の特定、指導内容）計画書の作成	畠山
第4回	教材作成・リハーサル	
第5・6回	発表	
第7回	発表後の振り返り 対象の行動変容に働きかけるための課題・改善点の抽出 まとめ：健康を維持・増進するための看護師の役割	